

保護者 様

幼稚園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症にかかると、症状の改善後も感染症の病原体の排出が続き、一定期間は感染力が高い状態です。そのため、症状が回復し感染力が大幅に減少するまで、登園を避けていただくことで周囲への感染を防ぐことができます。

下記の感染症については、子どもの病状が回復し、かかりつけ医が集団生活に支障がないと判断された場合、かかりつけ医に登園許可証明書の記入を依頼してください。登園を再開する際には、かかりつけ医が記入した登園許可証明書の提出をお願いします。

登園許可証明書（医師記入）

長野日本大学幼稚園 園長 宛

園児氏名 _____

(_____ 組)

生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

病 名 (該当疾患に☑をお願いします。)

☐	麻疹（はしか）
☐	風しん
☐	水痘（水ぼうそう）
☐	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）
☐	結核
☐	咽頭結膜熱（プール熱）
☐	流行性角結膜炎
☐	百日咳
☐	腸管出血性大腸菌感染症（O157、O26、O111 等）
☐	急性出血性結膜炎
☐	侵襲性髄膜炎菌感染症（髄膜炎菌性髄膜炎）
☐	その他（ _____ ）

病状が回復し、集団生活に支障がない状態となりました。

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日から登園可能と判断します。

（登園後の注意事項）

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 医療機関名
電 話 番 号
医 師 氏 名